

ご関係者のみなさまへ

日本防災士会・新潟県支部 事務局 成川一正

小千谷市地区別防災訓練で防災啓発イベントを実施

10月15日(日)南部地区を対象に開催され、住民と防災関係者約150人が参加しました。当会は、「日頃の備え」について防災訓練参加者へ防災啓発活動を行いました。

災害時を想定したポリ袋調理でパッククッキングやTKB72(トイレ・キッチン・ベット 72時間)チョットした工夫で災害を乗り越える技や自分の周りの災害リスクについて学んでもらった。

また、小千谷市で中学生の防災士が誕生し、一緒に防災士による啓発コーナーを盛り上げた。

■概要

日時:令和5年10月15日(日)10時~12時

会場:小千谷市立南小学校・中学校

実施者:日本防災士会・新潟県支部 8名 + 中学生防災士の加藤君

■実施内容

- TKB72
- 非常持ち出し品の展示
- パッククッキング(梅ひじきおにぎり)
- 防災アプリ「新潟県防災ナビ」を使用したハザードマップ解説
- AR(仮想現実)バーチャルお天気体験

防災士スタッフ集合写真



TKB72



パッククッキング



非常持ち出し袋



中学生・加藤君が防災士に

学ぶ側から担い手側へ

小千谷中学2年生の加藤豪君（土川）がこのほど、NPO法人日本防災士機構（本部・東京都千代田区）が認証する防災士に合格した。社会の様々な場

防災力を高める活動が期待される防災士に中学生が合格するケースは全国的にも珍しく、防災教育の担い手としても期待されている。加藤君は父親の影響



もあり、防災キャンプに参加や、同イベントのスタッフとして活動してきた。今夏にはおぢや震災ミュージアムそなえ館による防災リーダー研修に参加し、東京で関東大震災の教訓なども学んだ。今月15日に南小・中学校で行なわれた地区別防災訓練にもボランティアで協力した。

一方、学校の防災学習に疑問も抱き、自ら防災について学ぼうと防災士の受験を決意。講習を受け、教本も読みこなし、今秋に受験、合格したという。認証状は近く届く予定とのこと。

加藤君は「自分自身

は大きな地震を経験しておらず、試験の中で罹災証明書など難しい問題もあった」と振り返り、「地震の教訓が薄れていると感じる。学校の防災教育で足りない点を補い、災害で亡くなる人を一人でも減らせるよう、活動したい」と語る。

新潟県内の防災士で組織するNPO法人日本防災士会新潟県支部の成川一正事務局長は「加藤君が防災士会に入れば、県内で一番若い会員になる。防災士会では中学生対象の防災学習にも取り組んでおり、加藤君にはリーダーとして活躍してほしい」と期待。